

葛西親水四季の道

1 社会資本の概要

昔から水との深い関わりをもってきた江戸川区では、下水道の整備によって不要になった水路跡地に、失われた自然を取り戻し、水に親しめる憩いの場をつくる親水計画を進めてきました。「葛西親水四季の道」は、この親水計画を都市化された街並みの中の限られた生活道路空間に取り入れ、かつて水上交通路として栄えた長島川は葛西地区を南北に縦断す



川魚の放流

る水と緑のネットワークとして生まれ変わりました。2,100mにもおよぶ散策路には桜並木、花や木、そして、彫刻等も設置されています。

また、魚の泳ぐ小川や浄化設備を備えた水遊びの池、4カ所の子供広場なども設置されており、地域の貴重なコミュニケーションの場として多くの人々に利用されています。



地域住民による清掃活動

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当団体は、平成3年、第1回葛西「四季の道」新田地域ふれあいフェスティバル開催時に実行委員会を組織していた新田町会と近隣の5つの自治会から、会の発足の声が上がリ、近隣小中学校PTA・くすのきクラブを加え発足しました。

以降、5月「春の一斉美化運動」、6月「川魚の

放流」・「四季の道清掃活動」、11月「秋の一斉美化運動」、などを行い、25年間にわたり地域のために多大な貢献をしてきました。

現在、公園ボランティアとしても活動しており、いつでも誰でも楽しく快適に利用できる場となるよう、行政と協働で清掃活動に取り組んでいます。



小学生による米づくり体験



夜間パトロール



東京都江戸川区

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会／江戸川区

3 活動の成果や波及効果等

当団体は、川魚の放流（金魚、ウグイ、カニなど約1,000匹）、沿川の清掃活動、清掃用具の授与などの活動を25年間にわたり行っていきます。大人から子どもまで世代を超えて多くの人々が、この葛西親水四季の道での活動を通じて地域に郷土を感じています。また、当団体は町会や小中学校PTA等（約17,000人）で構成されていることもあり、地域コミュニティの活性化や地域の安全安心の向上において寄与しており、社会貢献として他の団体の模範となる活動を行っています。

4 前回受賞時からの活動の発展内容

この地域は以前は、のどかな田園地帯でしたが、急激な都市化により人口が急増しました。その結果、住民同士の関係が希薄となり、住民の地域への関心は薄れつつありました。

このことを憂いた当団体代表者の山岡氏は整備されたばかりの「葛西親水四季の道」に着目し、『葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会』を立ち上げ、地域住民が一体となった清掃活動や魚の放流等により、かつての葛西の原風景を再生し、新しいふるさとを慈しみ、地域を愛する心を育てる仕組みを構築するとともに、より強固な地域コミュニティを作り上げました。以降、約25年間にわたり活動を続けています。

喜びの声



受賞者

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会
会長 山岡 新太郎

コメント

この度は、手づくり郷土賞（大賞部門）という栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。

「継続は力なり」という格言がありますが、この度の受賞で継続することの重さを再認識することが出来ました。

今後も、清掃活動、魚の放流を通して、地域コミュニティの活性化を図り、未来の世代にこの素晴らしい環境を引き継いでいきたいと思えます。

活動内容

一斉美化運動、川魚の放流 など

活動の経緯

平成 3年 発足
一斉美化運動開始
川魚の放流開始
清掃活動開始
平成10年 小学校と米作り開始

所在地

東京都江戸川区東葛西2丁目～西葛西8丁目

活動主体及び連絡先

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会
江戸川区 葛西事務所 (03-3688-0434)

対象となる社会資本

葛西親水四季の道
※管理者：江戸川区



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集